



2013年3月期
第2四半期 決算説明資料

2012年11月14日

東京日産コンピュータシステム株式会社
代表取締役社長 今泉 真一郎



2013年3月期 第2四半期決算概要

【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている内容は、当社が判断した種々の前提及び仮定に基づいたものであり、記載された将来の計画、目標数値、施策の実行を確約または保証するものではありません。

実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な不確定要因により、計画数値と異なる可能性があります。



(単位:百万円)

	2012年3月期2Q (4月～9月)	2013年3月期2Q (4月～9月)	前年同期比	
売上高	4,036	4,634	+598	+14.8%
営業利益	107	138	+30	+28.8%
経常利益	108	137	+29	+27.2%
四半期純利益	73	94	+21	+28.9%

- ◆ 情報システム関連事業は、パソコンを中心としたハードウェアビジネスが伸張。
- ◆ 人材派遣事業は派遣スタッフ増加を目指し、売上高は前年比3.3%増だが、派遣スタッフ一人当たり単価減少により営業損失1百万円。

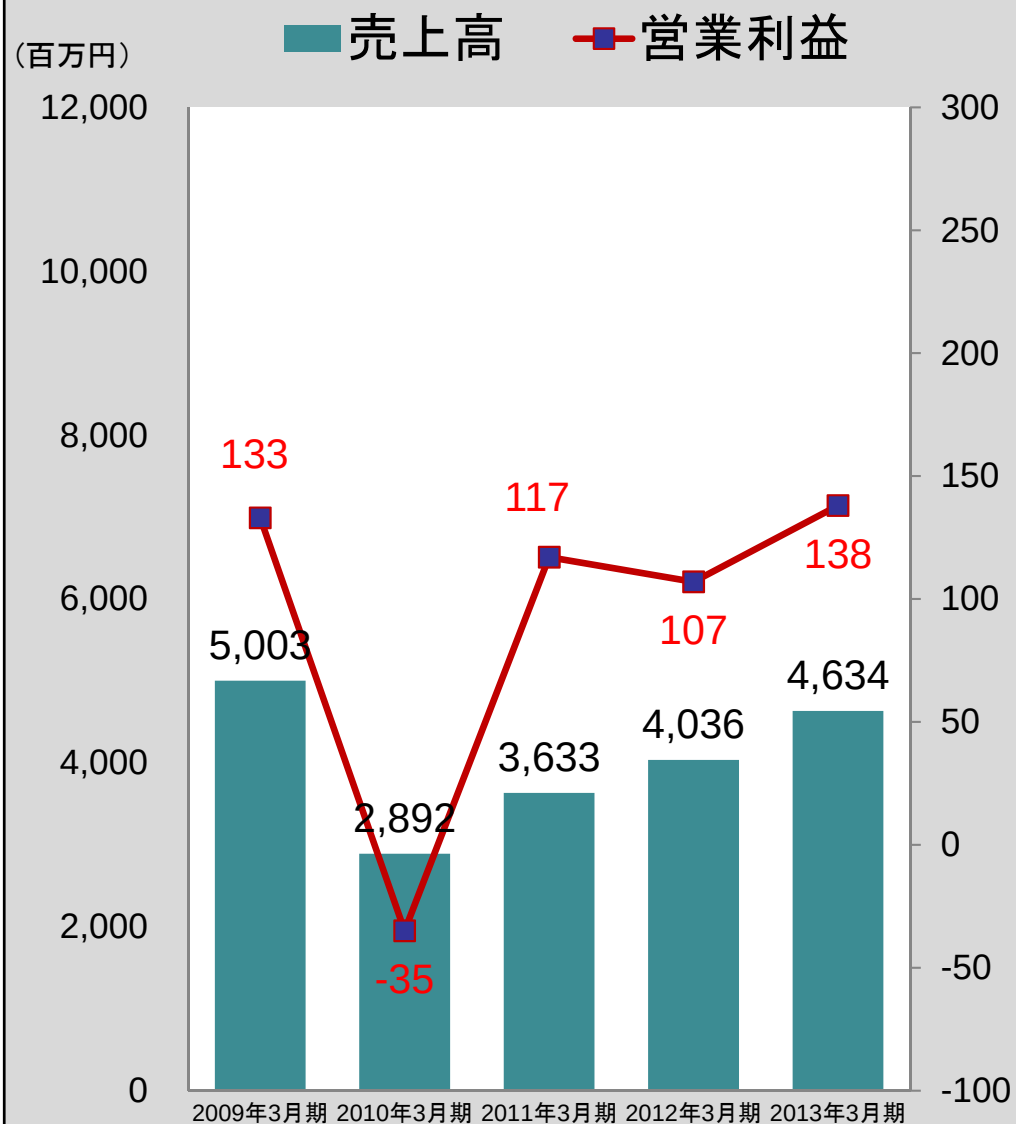


連結売上高・営業利益推移

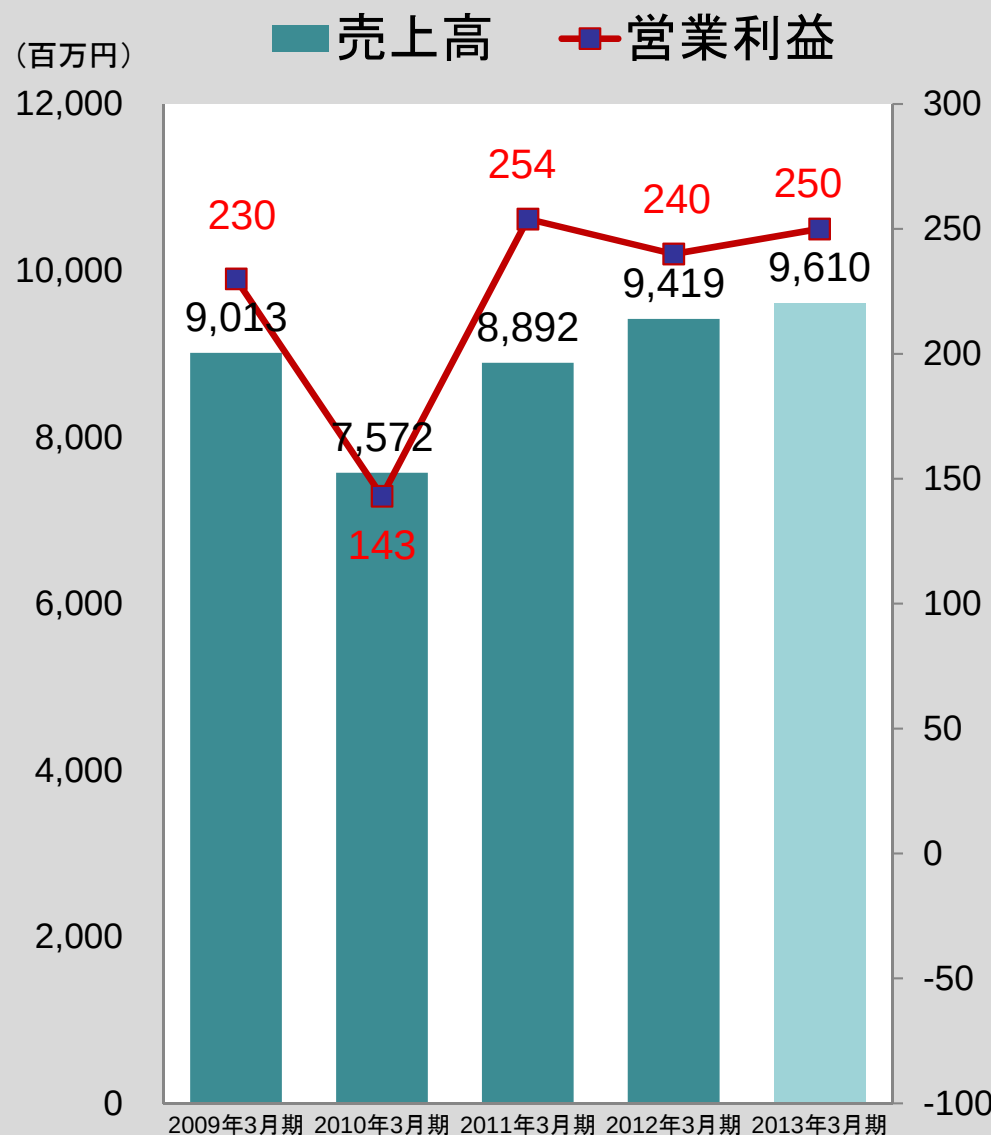


Total Customer Satisfaction

上期推移



通期推移



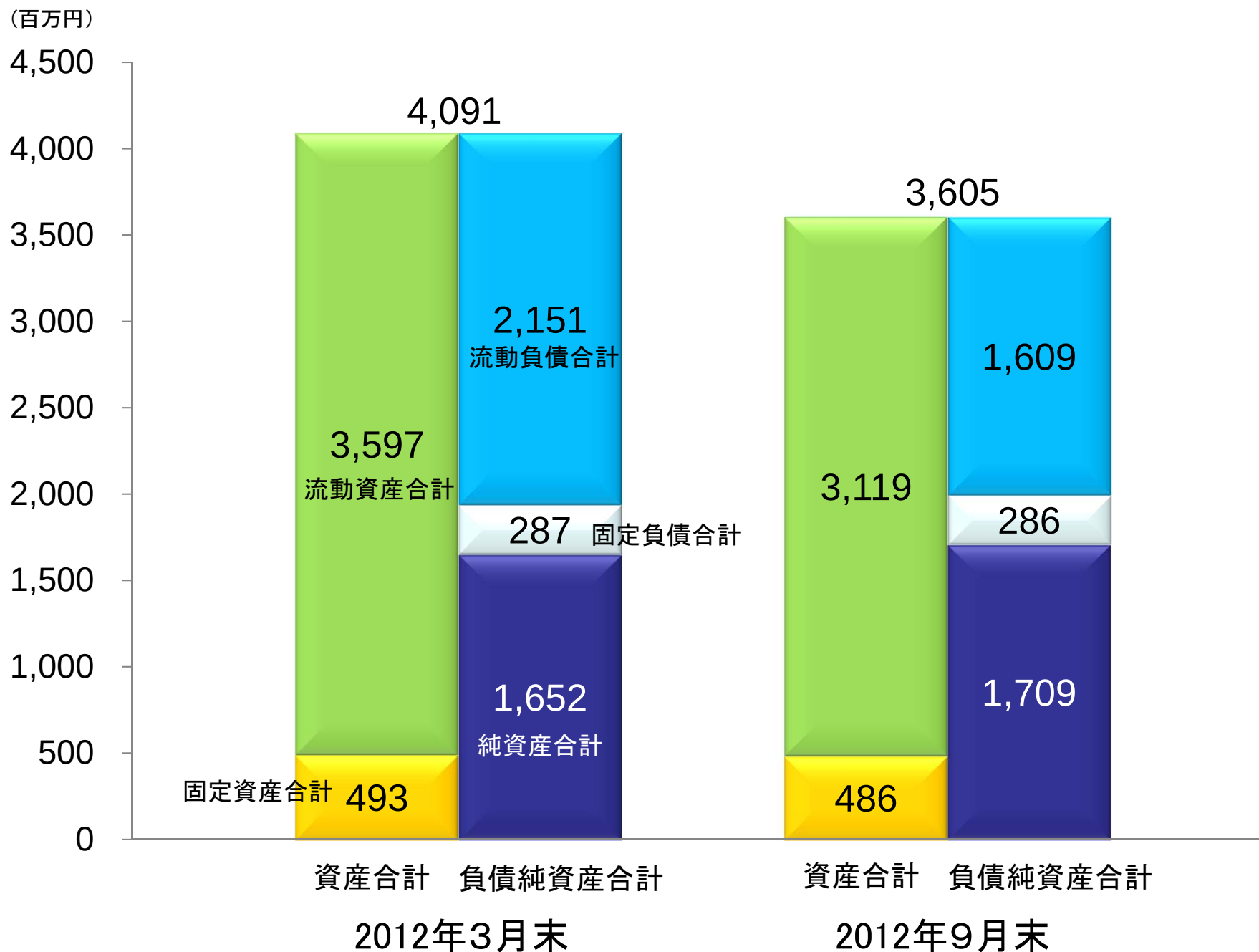
計画

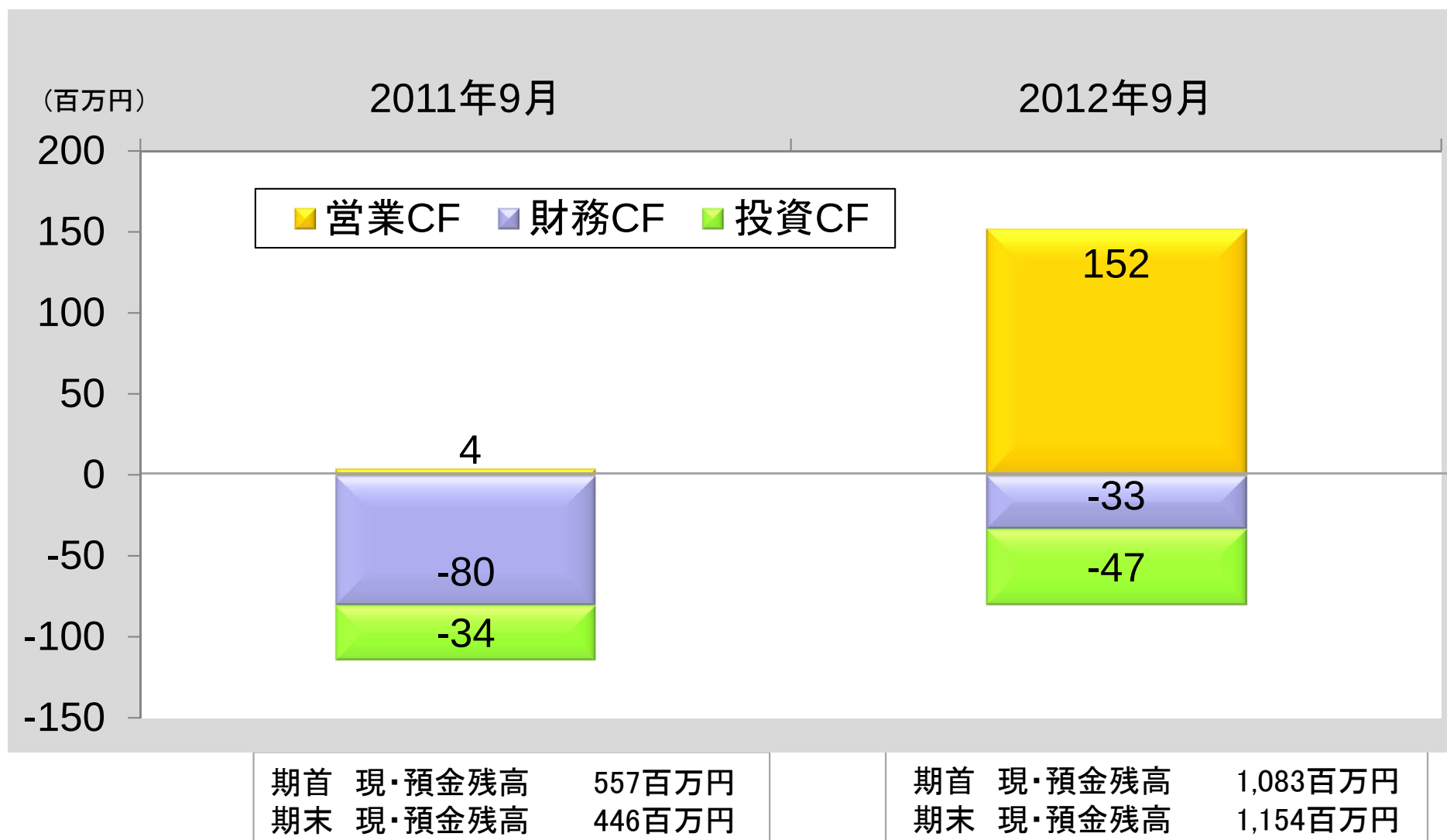


連結貸借対照表



Total Customer Satisfaction





- ◆ 営業活動CFは主に仕入債務の支払い、売掛金の回収等による売上債権の減少
- ◆ 投資活動CFは主に有形、無形固定資産取得
- ◆ 財務活動CFは主に配当金の支払

2013年3月期 通期見通し



(単位: 百万円)

	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (予想)	前年同期比	
売上高	9,419	9,610	+191	2.0%
営業利益	240	250	+10	3.8%
経常利益	241	250	+9	3.5%
当期純利益	133	140	+7	4.9%

- ◆ 第2四半期累計期間については、前回見込みに対し上方修正となりましたが、通期連結業績予想につきましては、中国などの新興国の経済成長鈍化等海外市場における不安定要因に基づく、顧客企業のIT投資動向に先行き不透明感が増していることから、平成24年5月14日に公表した数値から変更しておりません。



Total Customer Satisfaction

中期経営計画 (個別)



国内IT市場の成長率は2016年まで
0.7% 微増

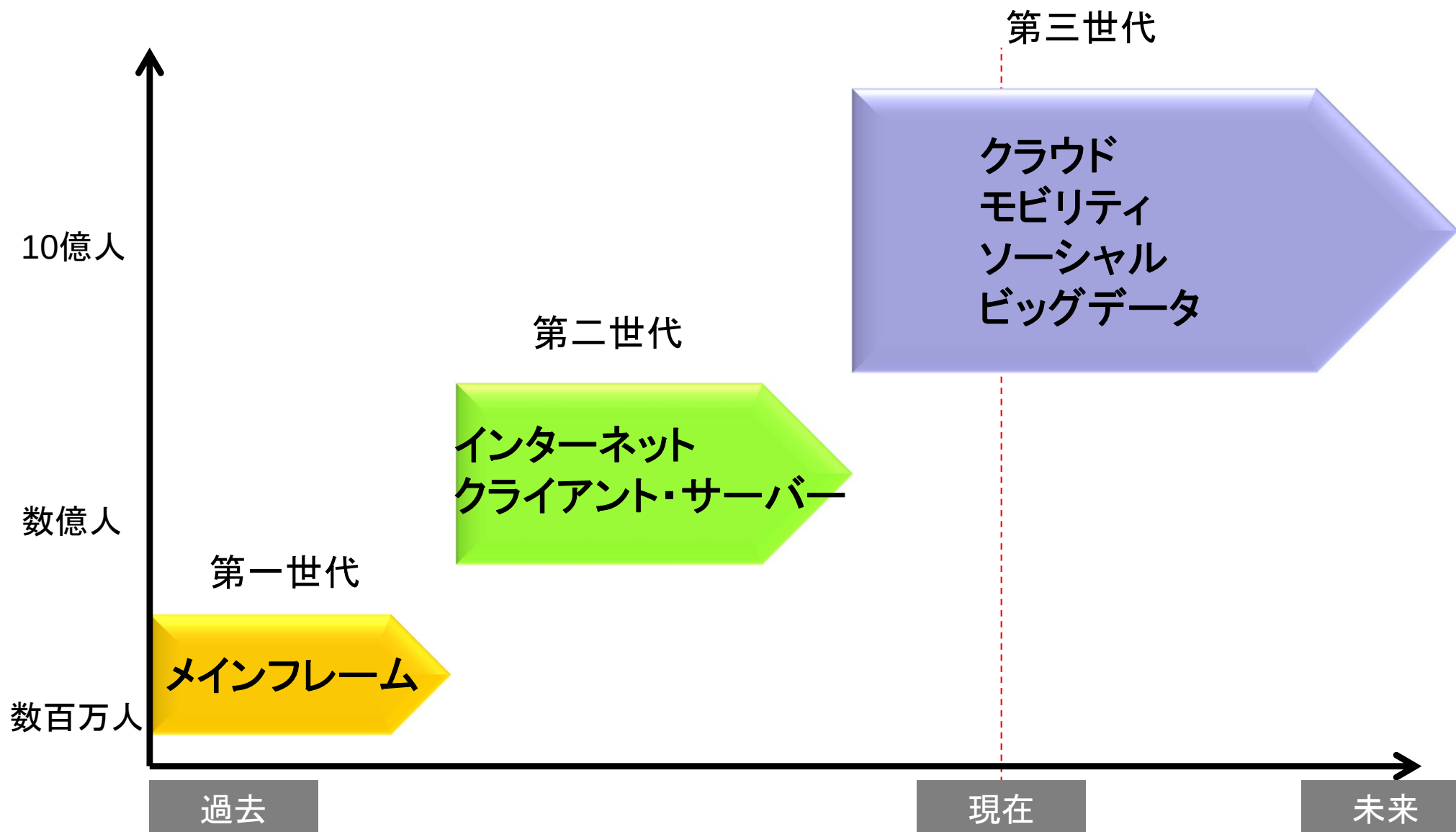
ITプラットフォームは第三世代へ
大きく変化



第三世代のITプラットフォーム



Total Customer Satisfaction



出典: IDC Japanプレスリリース「国内IT市場の主要10項目を発表」(2011年12月15日)



第三世代ITプラットフォーム	クラウド	ビッグデータ
当社既存顧客ニーズ	○	○
当社の強み	○	○

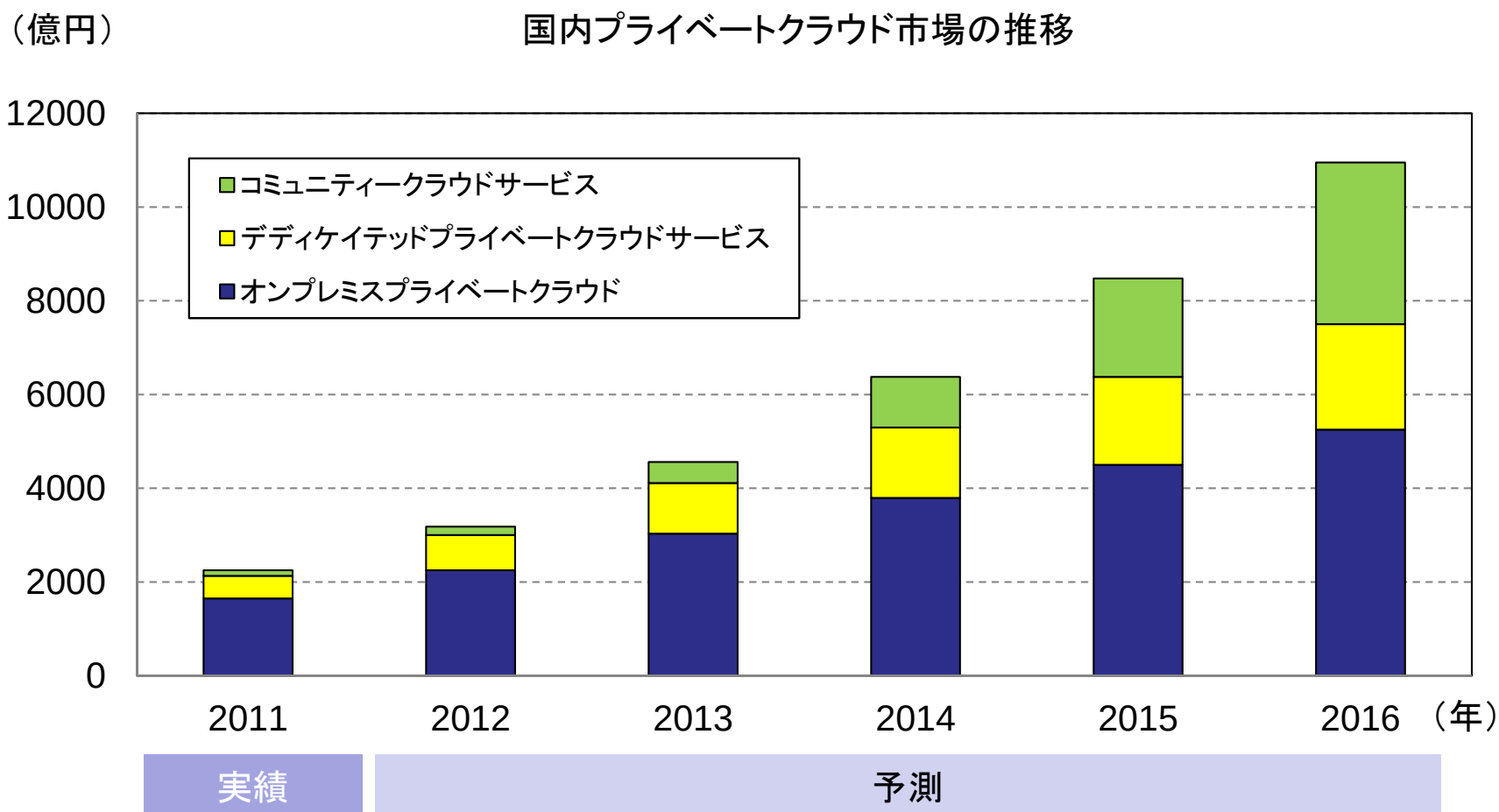


成長マーケットでの
当社の戦略

クラウド戦略



プライベートクラウドは年率37.6%で拡大



出典: IDC Japanプレスリリース「国内プライベートクラウド市場予測を発表」(2012年9月27日)



構築経験

大規模なサーバー・ストレージ
の構築経験が豊富であること

利用技術

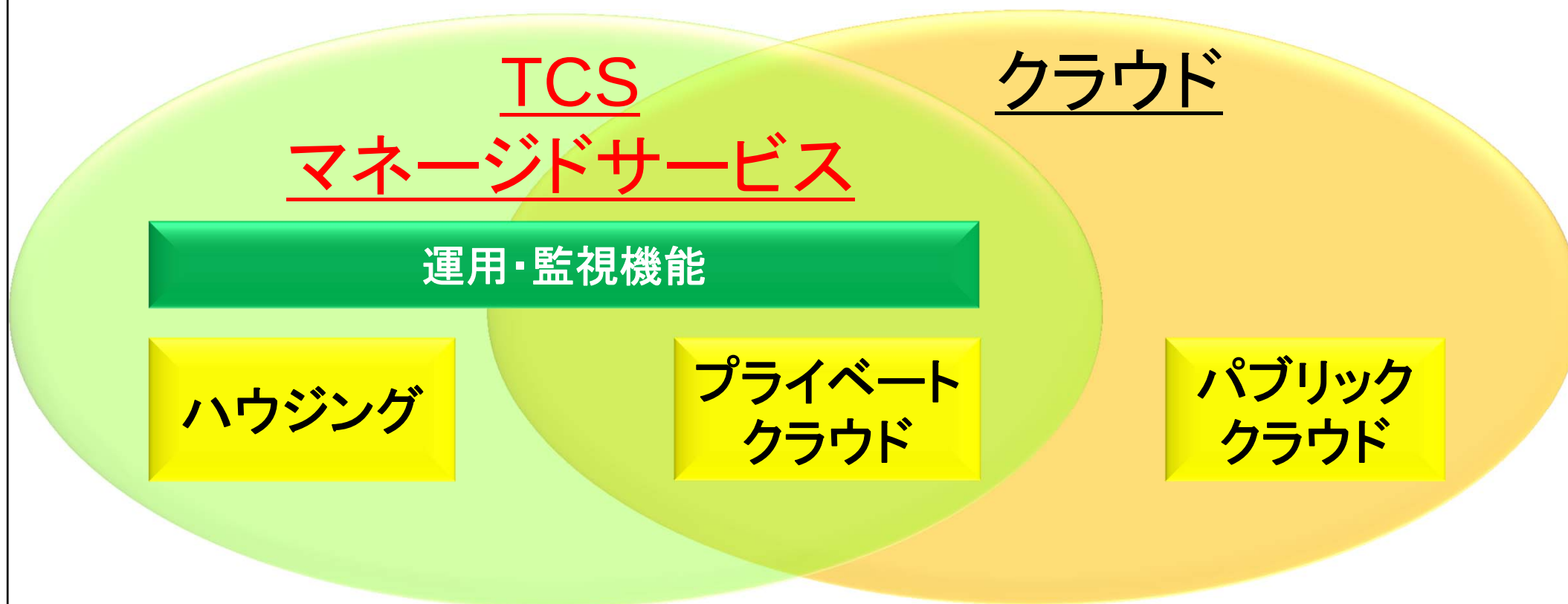
仮想化技術のベストプラクティ
スを持っていること

運用実績

顧客から顔が見えるサービス
を実践していること



■ 当社の考えるクラウド＝マネージドサービス





預けやすい

お客様資産のサーバーやストレージも、TCSのクラウド環境に接続できるので、柔軟な構成やスムーズな移行が可能です。

使いやすい

仮想化によって分離されたお客様専用の環境を提供します。
お客様は基本ソフトから自由に利用できます。

安心できる

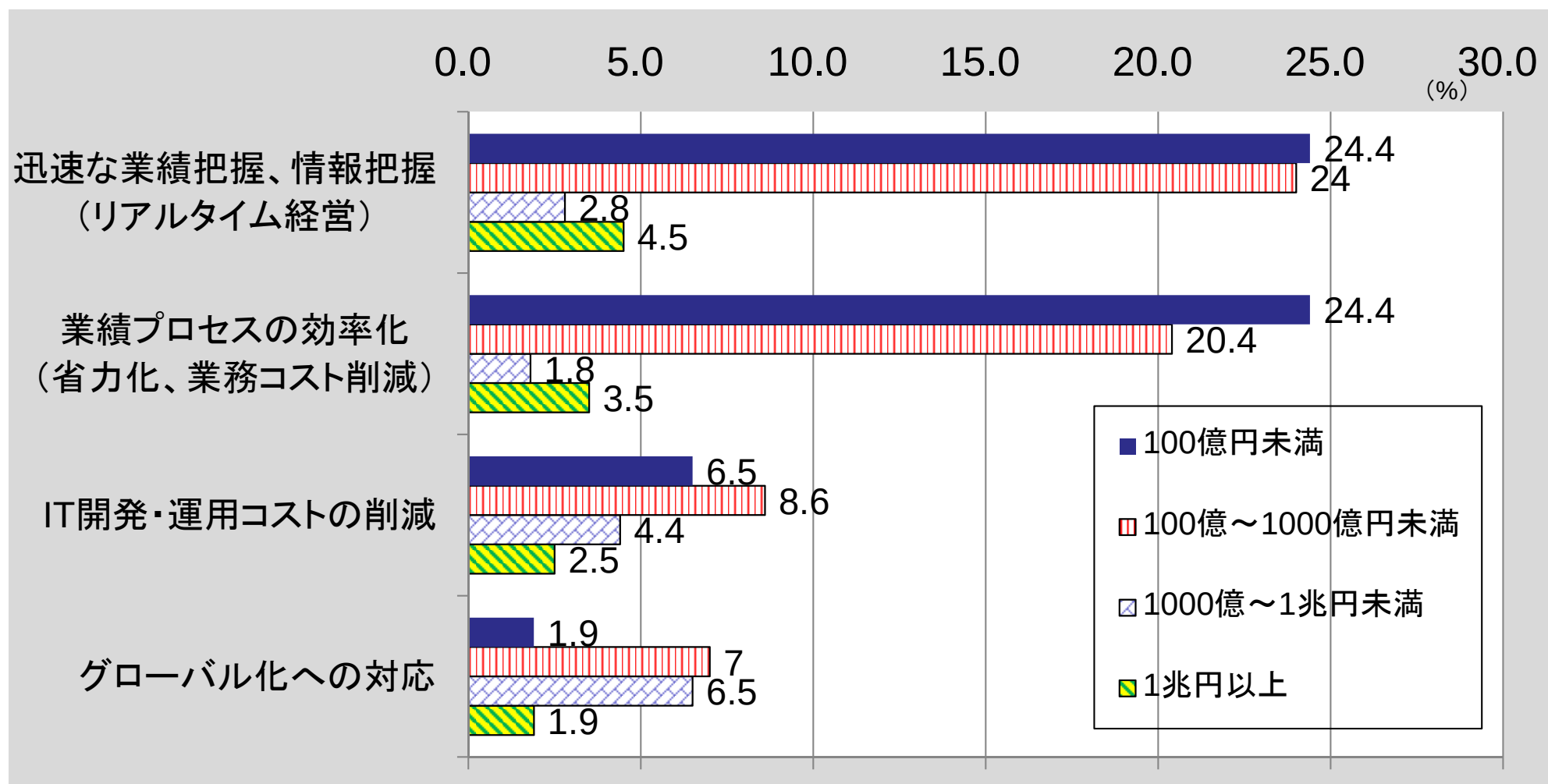
高度に二重化されたITインフラと、きめ細かな監視システムが、システム障害を最小化します。

ビッグデータ戦略



IT投資で解決したい中期的な経営課題1位は迅速な業績把握・情報把握
(リアルタイム経営)である。

情報の見える化～ビッグデータ



出典：一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会「企業IT動向調査2012」



データ収集

ストレージ技術やデータセンターを持ち、データ収集の器を提供できること

データ統合

優秀なデータベースエンジニアがいて、用途の異なる複数のデータを統合できること

データ分析

顧客に密着し、業務を理解して分析する姿勢であること



過去

実績の把握

従来型ビジネス
インテリジェンス

現在

状況変化の把握

ビッグデータ支援サービス

リアルタイムモニタリング

未来

着地の予測
施策効果の予測

予測分析



第三世代のITプラットフォームで事業ドメインを拡大





顧客

優良な顧客層
との直接取引

直販比率99%

(2011年度実績)

人材

IT関連保有資格
547件

2012 Beacon Awards



IBM Beacon Awards Finalist に選出

IBM エクセレント・パートナー・アワード Japan
受賞！

IBMストレージスペシャリティパートナー認定



戦略に沿った目標管理制度

全社的に統合された目標の展開

全社の戦略－全社の目標－部門の目標－個人の目標

適正な評価・フィードバック制度

能力アセスメント

スキルマップに基づいた、個別育成計画の策定と実施

能力向上を支援するしくみ

能力向上委員会

- ・人材育成プログラムの推進とレビュー
- ・TCSアカデミーの開催
- ・グローバル人材の養成





中期経営計画目標(個別)



Total Customer Satisfaction

(単位:百万円)

	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (予想)	2016年3月期 (目標)
高 上 売	7,998	8,000	9,000
営 業 利 益	232	240	450
高 上 利 益 率 営 業 利 益	2.9%	3.0%	5.0%



基本理念

「お客様へ最大のご満足を」

それが私達の願いです

企業ビジョンと行動指針(①～④)

①お客様の理解に
努めます

②最適なIT資源を
提供します

企業ビジョン

最も安心してITインフラを任せられる企業

③最新の技術経験を
提供します

④最新の製品を
お届けします



会社概要



Total Customer Satisfaction

商 号	東京日産コンピュータシステム株式会社 TOKYO NISSAN COMPUTER SYSTEM CO.,LTD
事 業 内 容	情報システム関連事業、人材派遣事業
所 在 地	(本店) 東京都渋谷区恵比寿1-18-18 東急不動産恵比寿ビル3階 (江東事業所) 東京都江東区東砂7-19-31 東京日産江東ビル2階
設 立 年 月 日	1989年3月3日
役 員 構 成	代表取締役社長 今泉 真一郎 専務取締役 吉丸 弘二郎 取締役 佐藤 浩之 取締役 赤木 正人 常勤監査役 小倉 弘行 監査役 松尾 憲治 監査役 小川 和洋
資 本 金	8億6,774万円
従 業 員 数	110名(2012年3月末現在)
決 算 期	3月
関 連 会 社	株式会社キャリアセンター (渋谷、立川、川越) (本店) 東京都渋谷区恵比寿西1-7-7 EBSビル7階
主 要 株 主	日産東京販売ホールディングス株式会社



1982年	昭和57	3月	東京日産自動車販売株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社と特約店の基本契約締結 コンピュータ事業部発足
1989年	平成1	3月	東京日産自動車販売株式会社コンピュータ事業部より分社独立 東京日産コンピュータシステム株式会社設立(略称TCS) 資本金8千万円
1995年	平成7	7月	東京日産自動車販売株式会社情報システム部を統合「SI事業部」発足 システム運用管理受託事業をスタート
2001年	平成11	1月	IBM e-businessパートナー認定 コンピュータ用品販売事業スタート
2004年	平成16	3月	JASDAQ市場上場 増資6,375万円、新資本金5億4,375万円
		5月	「ISO 9001 2000」認証(審査登録)
		9月	増資3億2,399万円、新資本金8億6,774万円
2005年	平成17	3月	「ISMS認定基準(Ver2.0)」認証取得
2006年	平成18	3月	人材派遣会社「株式会社キャリアセンター」子会社化
		4月	「ISO27001」認証取得
2007年	平成19	5月	一般労働者派遣事業許可(般13-302751)
2008年	平成20	3月	「ISO20000」認証取得
2010年	平成22	3月	IBM エクセレント・パートナー・アワード Japan受賞
2011年	平成23	11月	渋谷区恵比寿へ本社移転
2012年	平成24	2月	IBM エクセレント・パートナー・アワード Japan受賞
		3月	IBM Beacon Awards Finalist に選任
		4月	IBM2012年プレミアビジネスパートナー認定(2001年、2003年～2012年 10年連続受賞)